

議案審議……………②  
25年度一般会計補正……………③

一般質問のやりとり報告……………④～⑪  
研修、町の情報と表紙の紹介……………⑫⑬



**歓迎!! 岩崎恭子先生**

**A-lifeなんかん ジュニア水泳教室**



# 一 小北校舎耐震改修工事着工へ！！



耐震改修工事のための仮設校舎

平成25年南関町議会第2回定例会が6月19日から6月21日までの3日間開かれました。

今回は農地費等3件の繰越明許費の報告をはじめ、専決処分の報告及び承認が4件、南関町一般職の職員給与の臨時特例に関する条例の制定など条例関係2件、平成25年度南関町一般会計補正予算ほか特別会計補正予算1件、業務委託の締結、工事請負契約の締結、議員提出議案3件が審議され可決しました。

## 平成25年度への繰り越し事業分 一般会計

農地費（下坂下の山中堰他1件、豊永松木平堰、大場水中ポンプ改修）……1億5,600万円  
道路新設改良（大場中道り線他）……3,591万8千円  
社会資本整備総合交付金事業（関村田原線他）……2億1,589万9千円

## 平成25年度への繰り越し事業分 公共下水道事業

公共下水道事業費（関東管渠築造工事）……9,100万円

## 専決処分(平成25年3月31日専決)の報告及び承認

- 南関町税条例の一部を改正する条例の制定について。
- 南関町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について。
- 平成24年度南関町一般会計補正予算(第7号)歳入歳出それぞれ4,084万9千円を減額し、歳入歳出予算の総額を52億5,552万77千円とする。
- 平成24年度南関町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第5号)歳入を増減し、補正額0円、歳入予算の総額は8,235万円。

## 業務委託契約の締結

町道米田・鬼王線(仮称)の道路整備事業に関する平成25年度実施協定に係る業務委託契約の締結について  
委託内容：道路概略設計、路線測量、用地測量及び道路詳細設計 委託場所：南関町大字下坂下地内  
委託期間：契約締結の日から平成26年3月31日まで 委託金額：5,772万9千円  
委託の相手方：熊本県 代表者 熊本県知事 蒲島 郁夫

## 平成25年度 条例関係2件

- 南関町一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の制定について。
- 南関町子ども・子育て審議会条例の制定について。

## 工事請負契約の締結

南関第一小学校北校舎耐震改修工事 金額 2億475万円(工期 平成26年3月10日まで)



**一般会計** 1億1,608万6千円追加し、総額57億556万7千円になりました

**歳入**

分担金及び負担金	120万0千円
使用料及び手数料	1千円
国庫支出金	922万3千円
県支出金	643万4千円
繰入金	△200万0千円
諸収入	12万8千円
町債	1億0,110万0千円
<b>合計</b>	<b>1億1,608万6千円</b>

**歳出**

議会費	議会費	△1万2千円
総務費	総務管理費・徴税費・ 戸籍住民基本台帳費・ 選挙費	376万9千円
民生費	社会福祉費・児童福祉費	△1万8千円
衛生費	保健衛生費	5,190万8千円
農林水産業費	農業費・林業費	1,278万7千円
商工費	商工費	△393万8千円
土木費	土木管理費・道路橋梁費・ 住宅費	4,619万2千円
消防費	消防費	69万3千円
教育費	教育総務費 社会教育費・保健体育費	386万8千円
予備費	予備費	83万7千円
<b>合計</b>		<b>1億1,608万6千円</b>

**特別会計補正**

介護サービス事業	8千円
----------	-----

**平成25年度 一般会計の主な補正**

総合文化福祉センター費	修繕費（畳表替え他）	279万3千円
	工事請負費（電話機・交換機器設置工事他）	124万円
地域振興対策費	委託料（仮称 町道米田・鬼王線）	1,797万1千円
	公有財産購入費（仮称 町道米田・鬼王線）	2,834万5千円
	補償費（仮称 町道米田・鬼王線）	1,159万3千円
	積立金（南関町地域振興対策基金）	△473万7千円
農地費	委託料（西金輪塚堰）	50万円
	工事請負費（西金輪塚堰）	750万円
道路新設改良費	工事請負費（大西・桜原線）	2,100万円
	公有財産購入費（大西・桜原線他）	185万6千円
	補償費（大場中通線他）	2,058万円
防災管理費	自主防災組織設立促進事業補助金（7地区）	70万円
運動部活動地域連携再構築事業	報償費（トップアスリートによる指導事業）	294万円



## 境田 ペット条例はあるのか



総務文教委員  
広報委員

### 境田敏高

### 今現在はない

町長

**Q** 南関町では苦情等は少ないが、玉名保健所管轄ではH21年からH23年で平均295件の苦情・相談があつている。

**A** 住民課長 現在のところ、個人の登録犬による喧騒、悪臭等の苦情は課のほうには殆ど寄せられていない。ブリーダー（登録業者）については、県への登録が必要となつている。申請時に管理衛生面は保健所より指導されている。苦情があつた場合には、保健所と一緒に同行して、保健所から指導勧告等をしている。

**Q** ペット販売業者の営業に伴う喧騒、悪臭防止対策等の指導、立入調査はどのようにやっているのか現状を尋ねる。

**A** 住民課長 都道府県知事または保健所の許可という事で、市町村の許可等については何も

**Q** ペットの火葬場設置に関する規制はどうなつているか。役所への許可・登録は必要か。

**Q** ペット販売業者の営業に伴う喧騒、悪臭防止、苦情発生防止に努めている。

**A** 町長 条例はないが、町独自で事故防止、苦情発生防止に努めている。



**Q** 知らないうちに建設されて、煙や悪臭など、公衆衛生、環境面でも周辺とのトラブルが生じてはならない。南関町では家の建築確認はいらないので勝手につくられる

危険性がある。ペットの焼却施設・霊園施設の規制を設け、近隣住民とのトラブル防止・生活環境を守るため、隣接土地所有者・地域周辺住民の同意を得なければならぬ

で頂きたい。

**Q** 町長 議員以外の特別職で、区長報酬額の見直しはどのように進んでいるのか。

**A** 町長 南関町の区長報酬額は玉名管内報酬の平均額を上回っているため見直しは行っていない。

**A** 住民課長 県の許可を得ているから、何も問題はないということで作られればトラブル等が発生することもあり得る。条例を設置してあるところもあるので町としても検討したい。



厚生委員  
産業委員  
議会運営委員  
広報委員

田口 浩

## 今後のうから館の展望は？

田口

### 早い時期に民間委託を 考えている 町長

**Q** 林道について  
福山二城山線が平成19年に延長2413m 幅員4mで拡張工事が計画されたがその後の進捗状況は。

**A** 町長 本件について玉名地域振興局と協議を行い二城山線延長新設を行うためには、まず白川、菊池川森林計画の変更申請が必要となることから申請をし、許可を得ている。しかし、一体は土石流溪流として県より危険地域に指定されているところである。振興局林務課及び維持課と協議した結果、災害に対する対策を講じれば施工も可能だろうという返事を聞いている。今後、当該事業のメニューを待つという状況であり、関係す



**Q** 今までに、用地の交渉とかで地元の方と協議した事があるか？

**A** 経済課長 福山二城山線については平成5年度に間伐作業道として

開設している。その後、道路を拡幅し、一回設計書を作成しているが、地権者が50名ほどおられ、共有名義の部分もあるの

**Q** 文化福祉センターから館が町直営となり、2ヶ月余り経過したがどの様になったか。

**A** 福祉課長 入場者数は昨年同期と比べれば、4月の一般入浴が5217件、8.1%減。家族風呂が1055件、12.3%減。

**Q** これからは、燃料も高騰すると思われるので、早く指定管理者を募集し民間に委託すれば心配もいらぬと思うが。

**A** 町長 結論から言え

**Q** 今後、秋にかけて燃料費が上がられるのではないかと思われるがバイオマス燃料によるボイラーの使用は。

**A** 今後、秋にかけて燃料費が上がられるのではないかと思われるがバイオマス燃料によるボイラーの使用は。

**※** 温泉施設はこの自治体も悩んでいる問題で、三加和温泉も7月一杯で閉鎖されるようである。民間委託を早くし、活気あふれる施設になるように望む。



# 赤字続きのうから館、他の施設に切り替えるべきではないか

酒見

## 検討委員会の答申を待ちたい

副町長



副議長 産業厚生委員 酒見 喬

**Q** 今の時点では跡地利用についてどうのこのは言えない。しかし、

**A** 南関高校が廃校となったとき、その跡地利用はどのように考えているか。

**Q** 町長 去る平成25年1月8日、県教育委員会において再編整備後期実施計画の素案が了承され、その後地元説明会、町への事前協議等行われ3月19日県教育委員会において後期実施計画が決定された。平成29年3月をもって閉校移転が決定しているが、跡地利用計画については生徒が在学中でもあり跡地問題に取り掛かることは出来ない、廃校後の利活用については幾つかの要望を聞いている程度だ。

**Q** 南関高校が廃校となったとき、その跡地利用はどのように考えているか。

**A** 町長 去る平成25年1月8日、県教育委員会において再編整備後期実施計画の素案が了承され、その後地元説明会、町への事前協議等行われ3月19日県教育委員会において後期実施計画が決定された。平成29年3月をもって閉校移転が決定しているが、跡地利用計画については生徒が在学中でもあり跡地問題に取り掛かることは出来ない、廃校後の利活用については幾つかの要望を聞いている程度だ。

**Q** 4月開館で当初は20万人を超える利用客があったのだが年々利用客は減少した。指定管理者制度を導入し危機脱却を目指していたのだが赤字続きで指定管理者の応募もなく町経営で営業を続けて2か月になるが、利用客の状況や費用等どうなっているか。

**A** 教育課長 南関高校は内有志の方が町教育振興のため寄贈され今があると思っている。県からも、交通アクセスもよく利用価値も高いと思うので、町の意見を十分反映したいと言われている。

**Q** 副町長 南関高校は全体的な建設費用約16億円をかけ温泉施設が出来ている。当時のブームも

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。



あり、町の文化の振興が目的でもあった。しかしながらその後利用客の減少、燃料費の高騰などで赤字は避けられず、指定管理者の応募もなく、町経営で営業している。今後どうするかについては

検討委員会が立ち上がったおり、問題点を検討し十分審議しながら答申いただくものと思っ

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用

**A** 副町長 町にとつて中核施設であり、あれだけの収容能力のある施設は他にない、色々な観点から検討委員会の十分な審議を待ちたい。

**Q** 赤字額が3、4千万円で多過ぎる。他に施設の老朽化に伴う費用



委員 文教文総  
委員 運営議  
委員 査監町

島崎英樹

# 子ども・子育て審議会 設置の意気込みは 島崎

## 協議してさらに 支援推進する 町長

**Q** ①節目となる来年の第30回関所健康マラソン大会盛り上げについて町長の考えを尋ねる。

**A** 町長 大会は昭和60年に町村合併30周年を記念して始まった。今年4月の第29回大会は過去最高の1601人の参加があり、南関素麺やあげ、農産物等のPRの場として大変有意義だった。来年の30回大会はこれまで以上に盛会となるよう、また次につながるよう望んでいる。しかし、課題もある。

**A** 教育課長 22回大会に比べると参加者は二倍で、駐車場の確保が課題だ。盛り上げのため来年はマラソンや駅伝関係で有名な方を呼びたい。



10kmコースのランナー

**Q** 約1300人が町外ランナーで、高速を利用して来町する人も多いだろう。町の玄関といえるインター付近では、ごみが跡を絶たず、対策を考える必要がある。

**A** 住民課長 参加者や来町者には気持ちよく来て、気持ちよく帰ってもらうのが理想と思う。

**Q** 担当課や地元で協力をお願いして、きれいなまちづくりを心がける。

**A** ②町直営に戻った、うから館の今後の取り扱い

**Q** うから館を一つの施設として、町の将来を見据えた大局的な議論を期待しているが、町長の考えを問う。

**A** 町長 うから館検討委員会の答申を踏まえて、議会から意見を聞き、できるだけ早い時期に指定管理者による施設運営をしていきたい。

**Q** 検討委員会は指定管理ありきでスタートしたのか。

**A** 福祉課長 トップ（町長）の意向で、指定管理者制度を前提に委員会が発足した。

**Q** 人口減少や温泉・観光施設の競争が激しさを増す中、これまで通りの運営ではなく、時代に即した使い方を考えても良いのではないか。

**A** 町長 答申を待って住民目線で考えていく。

**Q** 子ども・子育て審議会の設置

**A** 国が2年後に新しい支援制度を始めることから、町は実施主体として事業計画をつくることになる。そのため今回の定例会に子ども・子育て審議会の設置が提案された。まずは子育て世帯

のニーズ調査が大事で、町長と教育長の意気込みを尋ねる。

**A** 町長 関係機関と連携し、現在、取り組んでいる子育て支援施策に対する評価と新たな取り組み等を十分協議してさらに支援を推進する。

**A** 教育長 東京で全国町村教育長大会等があり、平成24年8月成立の子ども・子育て関連三法の趣旨説明があった。ポイント①認定子ども園制度の改善や充実、待機児童の解消②地域保育機能の確保③地域の支援事業の充実の3点。審議会が設置されれば、福祉課や各施設と連携しながら、家庭教育支援の充実も図り、子育てしやすいまちづくりを目指していく。

**おひ** 子育て世帯は、子育てと仕事を抱え、親の介護も遠くない現実にある。行政の支援は未来への投資であり、子どもたちのためになる施策を考えたい。